

【がん種】 [非ホジキンリンパ腫](#)
【レジメン名】 Pola+R-CHP 7～8コース目
【登録番号】 011163
【1コースの期間】 3週間
【投与間隔調整規定】 -2日
【総コース数】 2コースまで(忍容性があればPola+R-CHP 1～6コース目 終了後から)
【催吐性リスク】 最小度:リツキシマブBS
【抗がん剤の組織障害性】 ノンビシカント(非壊死性):リツキシマブBS
【投与量に制限のある薬剤】 なし
【主な有害事象】 注入に伴う反応、傾眠

【必要な検査】 一般採血
【根拠論文】 N Engl J Med 2022;386:351-63.

【点滴の時間】 [day1]初回約5時間, 2回目～約4時間
【その他】 対象患者: CD20+のDLBCL

Rp	薬剤名	量	投与方法	投与時間	投与日		
					1	...	21
1	生理食塩液 250mL	1 B	メイン	キープ&フラッシュ	○		
2	アセトアミノフェン錠 200mg	3 錠/回	内服	1日1回 リツキシマブBS投与30分前	○		
3	生理食塩液 50mL ソル・コーテフ注射用 100mg ボラミン注 5mg/1mL	1 B 1 V 1 A	側管	全開 開始時にアセトアミノフェン内服	○		
4	生理食塩液 100mL	1 B	側管	30分	○		
5	生理食塩液 500mL リツキシマブBS点滴静注「KHK」 初回 50mL/hで開始し、30分毎に50mL/hずつ速度を上げ、最大400mL/hまで 2回目～ 100mL/hで開始し、30分毎に100mL/hずつ速度を上げ、最大400mL/hまで	- mL 375 mg/m2	側管	1mg/mLの濃度に調製	○		

【Pola+R-CHP 7～8コース目減量・休薬・中止基準】

N Engl J Med 2022;386:351-63.

有害事象	Grade 用量調整
注入に伴う反応	3以上 リツキシマブを中止する。
アナフィラキシー	-